

神恩感謝



石 鎚 社 報

発行所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

11・12月号



秋季例大祭 お旅所にて

道

人生の先輩方から、「世の中で大切なものは、人、物、金の順番だ。」と教わってききました。同時に、起きるトラブルも、「人、物、金」の順番かと感じるのは私だけでしょうか。

トラブルの前に、「自分自身の事を自分がどう捉えているのか」で解決できる事も多いのではないかと感じます。

- よく言われますのに、性格は、顔に出る。
- 生活は、体形に出る。
- 本音は、しぐさに出る。
- 感情は、声に出る。
- センスは、服装に出る。
- 美意識は、爪に出る。
- 清潔感は、髪に出る。
- 落ち着きのなさは、足に出る。
- 育ちは、食べ方に出る。
- 人格は、見知らぬ人への態度に出る。

あなたは、どれが一番、心に響きますか。

武智。

十月五日 石鎚本教秋季例大祭

去る十月五日(土)石鎚神社口之宮本社御本殿にて、秋季例大祭が、曇り空ではありましたが、天候も崩れることなく盛大に斎行されました。

当日は、全国各地より多数の石鎚信徒を始め、神社界政界各界より御来賓のご参拝を賜り午前十時より祭典を斎行。

祭典は、開式太鼓「石鎚立螺之会」の皆様勇ましい立螺に始まり、神御衣・本教幣・初穂料が奉られ武智宮司管長が祝詞奏上し、日々の御神恩・五穀豊穰に感謝申し上げ、平岡明筆頭常務総代・本教理事により総代祈願詞が奏上されました。



続いて巫女が浦安の舞を奉納。

また、奉納行事におきましては、此度開講二六〇年の記念に合わせ、西山講社の皆様に詩吟の奉納をいただきました。



続いて宮司管長・神社役員・御来賓・各教会・遙拝所・講社の関係の方々に玉串拝礼をして頂き、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願事を祈願して厳粛に祭典を終了いたしました。



続いて神御衣が

山口県 大島教会

岡山県 倉敷不動教会

大分県 白杵遙拝所

へ、それぞれ下付されました。

なお、神御衣は

大阪府 矢野 棟子 氏

京都府 山崎 真紀 元老

新居浜市 大西 彌太郎 元老

のお三方よりご奉納いただきました。

次に、辞令伝達にて、

徳島県

筆頭常務総代・筆頭本教理事

平岡 明 元老大顧問

香川県 導不動院遙拝所

所長 岩崎 光照

元老大顧問

以上の方々が先達功労章として銀笏を拝受され、

先達特別昇進にて、

広島県 西山講社

講演 西山 安磨

名誉大監長

の辞令が交付されました。

また、石鎚本教評議員三十年勤続者表彰として、

岡山県 佐久光教会

教会長 森 文成

元老大顧問

へと表彰の授与がありました。

来賓祝辞として、神社界より

愛媛県神社庁 庁長

和霊神社 宮司

三輪田 泰生様

政界より

県議会議員 西原 進平様

元老大顧問

の方々よりご挨拶を頂戴し、その後、神輿に御神像をお遷しして神輿渡御が行われ今年

は一般のかき夫の方も参加されました。また愛媛プロレスの石鎚山太郎選手も今回の神輿渡御のかき夫、お餅撒きもしていただき、大祭をより一層盛り上げていただきました。また樽神輿や敬神婦人会の花神輿、お稚児行列も賑やかに社務所前に到着し、一回目のお餅撒きが行われました。



神輿が御旅所に着御すると、御旅所祭が執り行われ、奉幣神事・巫女の舞、西田獅子舞保存会による「獅子舞」、敬神婦人会の「手踊り」「石鎚音頭」が奉納されました。



その後、御神像は還御され、御神像拝戴がなされ、二回目のお餅投げ・福木もその時に併せて撒かれました。



福木投げの当選者は
特賞一等 空気清浄機

高知市 時光 優子様
特賞二等 三枚刃シェーバー
西条市 伊藤 貴文様
特賞三等

ステイッククリーナー
神戸市 神波 忠夫様

特賞四等 タイガー炊飯器
福山市 高原 誠様
特賞五等 食器乾燥機
大洲市 井上 典子様
特賞六等 低周波治療器
松山市 村上 喜美枝様
特賞七等
布団・衣類・靴乾燥機

西条市 伊藤 俊様
特賞八等 電気ケトル
西条市 山本 逞翔様



また、お餅は
愛媛県 原井川 平
神鏡笏 元老大顧問
徳島県 東予崇敬組合
徳島支部 支部長

武田 喜善名誉部長
徳島県 金平 敏孝特選部長
熊本県 肥国合神遙拝所
所長 日高 智美元老顧問
よりご奉納戴きました。

愛媛県
曾我タオル株式会社様
よりタオルの奉納を戴きました。



豊の秋の彩り・実りの時に、今大祭で各方面にてご奉仕・ご奉納を賜りました豊友会・敬神婦人会・信徒の皆様方には、何かと大変でございましたが、大神様の為と思い誠心からのご奉仕をいただき、無事に秋季例大祭を斎行できましたことをこの場を借りて篤くお礼申し上げます。信徒皆様方の今後益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、ご報告と致します。

記 権禰宜 片岡 明路

十月六日 祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭斎行

境内にある祖霊殿。石鎚山 開山の祖・役小角をはじめ歴代宮司、霊峰石鎚の為にお力添えを戴きました先達・教師・特別崇敬者にて帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を斎行しています。

※御遺族様には該当の命日月(毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りしてあります)に命日祭の御案内を差し上げています。住所変更あります方はご一報願います。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は今年、新たに合祀された御遺族様と過去三年以内に合祀された御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様も御参列戴き、御霊慰めの祭典を共に御奉仕したいと思えます。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に、凜としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が、築かれました篤き志を、また優しき御心を継がれますことをお祈り申し上げます。

この度合祀されました新祭神をご紹介申し上げます。

石鎚神社 先達会付係 TEL 0897・55・4044

令和六年 十月六日 祖霊殿合祀祭神名

石鎚本教名誉顧問 最高功労章 金笏 元老大顧問 石鎚本教功労章 大教正 田邊 紀江 刀自命

有功 神鏡笏 元老大顧問 大訓導 三浦 初子 刀自命

元老 箱崎 勇 大人命

名誉部長 大講義 柏 幸子 刀自命

特選部長 箱崎 真造 大人命

大取締役 高原 貞子 刀自命

(順不同)

投げ餅ご奉納 為、石鎚本教 秋季例大祭

東予崇敬組合 徳島支部 支部長 武田喜善 名誉部長

去る、十月五日、石鎚本教秋季例大祭に、東予崇敬組合の徳島支部の皆さまに、投げ餅を奉納頂きました。

石鎚大神様への献上の思いを込め、丹念に一つずつ作り上げてのご奉納です。

皆様の笑顔のご奉仕に、大神様もお喜び、大祭当日は実に盛大な餅投げとなりました。深く御礼を申し上げます。の皆さまのご紹介と致します。

権宮司 十亀 博行。

ご奉仕・ご奉納者

武田 喜善 ・ 武田みどり 藤本 敏男 ・ 藤本 園枝 森岡 政和 ・ 森岡百合香 平岡 武子 ・ 星川 弘明 石田 修 ・ 河合 純子 藤本 幹世

(順不同・敬称略)

先達功労章

銀之笏 拝受



平岡 明

元老大顧問・少教正

徳島県

筆頭常務総代・
筆頭石鎚本教理事

・平成元年、先達拝命

・平成二十三年

常務総代 就任

・平成三十年 有功神鏡笏拝受

・元宮司推薦総代。

・元東予崇敬組合、徳島支部長
御神像奉持のご奉仕、長きにわたる。

・令和三年より筆頭常務総代として宮司管長を補佐し、役員会を牽引。

・現、七十四才。

右、御慶を申し上げます。
文責、武智

先達功労章

銀之笏 拝受



岩崎 光照

元老大顧問

香川県

導不動院遙拝所 所長

・昭和五十五年 先達拝命

・平成二十三年

有功神鏡笏拝受

・数十年の長きにわたる講社活動。

・成就社よりの後山団体参拝を重ね、本年も約百名を引率。

・数十年にわたり正月初詣本社へ団体参拝を重ね、本年

も約百二十名を引率。

・長年にわたり、石鎚神社大麻五〇〇体、新春特別祈祷

約一〇〇件をお世話。

・平成二十八年 遙拝所を開所
御年九十一才。

右、御慶を申し上げます。
文責、武智

お初穂奉納者

十月五日

石鎚本教秋季例大祭

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《本社》

◎四拾五万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子

◎三拾六万円以上

大阪教会 湊 喜美子

◎式拾万円以上

導不動院遙拝所 岩崎 光照

美馬市 平岡 明

◎壹拾五万円以上

香春教会 川津 守秀

大打山遙拝所 石崎 昌司

吉見教会 加藤 法泰

◎壹拾万円以上

大分石鎚教会 江藤 秀人

睦美教会 田窪 一善

霊威教会 中西 幸男

大分市 中西 幸男

(株)浦松興産 浦松 大八

葉山教会 岡村 信一

和食教会 安岡桂一郎

東雲講社 黒田 明子

◎五万円以上

吉田教会 越智 汀祐

赤坂教会 木村 稔

穂波教会 越智 節子

富海教会 松岡 英二

白杵遙拝所 木浦 由香

みやこ郡 白石 順子

西条市 十亀 興美

防府教会 山中 將史

山南嘉和教会 岡本 嘉孝

佐川教会 片岡 抄織

愛知遙拝所 澁谷恵美子

別府市 浦松 傳

石鎚登山口ロープウェイ(株)

伊藤 和豊

西山講 西山 安磨

市原市 松浦 節子

(順不同・敬称略)

十月六日

祖霊殿秋季例大祭・合祀祭

◎五万円以上

下関教会 田辺 和彦

(順不同・敬称略)

五千円以上のお初穂奉納者
につきましては、本社手水舎
前に掲載させていただいてお
ります。

文責 楠宜 大岡

八大龍王社 例大祭 令和六年八月八日齋行

八月八日、午前十一時より中宮成就社境内にご鎮座されます八大龍王社に於きまして、例大祭並びにお火焚き祈願祭が執り行われました。



朝は二〇度と過ごしやすい気候でしたが、気温がぐんぐんと上昇し、祭儀が始まる頃には、日差しが強くて日なたの箇所には居られないほど暑かった状況でしたが夏らしい天候に恵まれ多くの方が参列し祭儀が斎行されたことに感謝申し上げます。



祭儀は武智宮司が例大祭を言祝ぐ祝詞を奏上、ご参列いただきました方々に大神様のご守護に感謝する玉串拝礼をしていただきました。



続いて見返り遙拝殿前にて齋行されたお火焚き祈願祭では、十亀権宮司の手により全国から寄せられました四百本の祈願木を一つずつ読上げ、また参列者と共に大阪府 瑞明遙拝所長 名誉部長 西川昌宏先生の先導で、大祓詞斉唱・般若心経読誦願い成就しますよう心一つに祈願申し上げます。そして、祈念いたしました例大祭の八大龍王神札を参列の皆様一人ひとりにお渡しして納めとなりました。



次年の八大龍王社例大祭・お火焚き祈願祭も多く御参列を心よりお待ち申し上げます、成就社にご鎮座されております八大龍王の神威益々の発揚と、全国各地の信徒の皆様のご多幸と、常日頃より御配慮いただきありがとうございます関係者各位に感謝申し上げます。

記 権禰宜 瀧澤



令和六年度 東予崇敬組合 例大祭 齋行

【日時】

令和六年九月十六日
十一時より

【場所】 徳島県 脇町遙拝所

組合長

藤本敏男 元老

少教正



本社出向

武智宮司

平岡常務総代

曾我部権彌宜

右記にて東予崇敬組合例大祭が齋行されました。

東予崇敬組合長をはじめ管内の役員、信徒の皆様、脇町遙拝所の皆様の笑顔に迎えら

れ、今治越智崇敬組合長をはじめ来賓の方々約六十名のご参列を戴きました。



祭典は脇町遙拝所、讃岐神大遙拝所の皆様の御奉仕により齋行され、藤本組合長、武智宮司の順にて祝詞が奏上され、神聖舞踏家玲鳳さんによ

る「水の祈り」が奉納されました。神聖舞踏とは「肉体の蘇生」「魂の再生」を目的とした命の踊りで、神羅万象と溶け合い、自分自身の生命や人生を、踊りを通してなおしてゆく喜びを体験するもので、今回の「水の祈り」は命の根源である大切な水へ心からの感謝を込めた舞を奉納頂きました。



その後参列者が神恩感謝の心で玉串を奉奠し、祭典は滞りなく齋了されました。祭典後、御神像拝戴神事が行われ、藤本組合長の乾杯の発声の後直会が和気藹々で行われました。

今後とも、藤本組合長を扇の要とし、東予崇敬組合が益々活性化、発展致しますことと、御参列頂きました皆様方が、御多幸であられますことを祈念致しましてご報告とさせていただきます。

記 権彌宜 曾我部洋輔



年末年始 祭典・行事 案内

〔本 社〕

〔十二月〕

■一日(午前十時より)

月次祭 併せ 新穀感謝祭

師走入りの月次祭に併せ、この年の新穀をご神前にお供えし、稔りに感謝申し上げる祭典。

■十三日

正月事始め

すす払い・松迎え

正月を迎える準備を始める日。正月縁起物の頒布を始めます。

■十五日(午前十時より)

月次祭・命日祭

本年最後の月次祭。また祖霊殿にて当月の命日祭を執り行います。

■二十一日(午後四時より)

星祭祈願始め祭

冬至であるこの日より、明年節分まで朝夕に祈願を行います。

詳しくは10ページをご覧ください。

■三十一日(午後五時)

大 祓 式

一年間、知らない間に犯した罪穢を祓い清める祭典。清々しい気持ちで新年に臨みましょう。

年 越 祭

(午後十一時四十五分)

除夜は年神様を迎えるために、心身を清め、一晚中起きているのが年越しの習い。一年間の感謝と来る年の幸せを祈りましょう。

〔正月〕

■元日(午前零時より)

元 旦 祭

一年の始まりです。初詣を行い、今年一年の無事と平安を神様に手を合わせましょう。

引き続きの神事

御神像拝戴神事

石鎚神社のみで行われる全国唯一の特殊神事。

※祭典の後

招福獅子舞

(西田獅子舞保存会)

縁起行事のご奉納予定

ご本殿にて

新春特別祈禱

境内にて

招福縁起物の頒布

石鎚神社青年部を中心に、ご奉仕いただく若人等がご本殿授与所にてお待ち致しております。

〔中宮成就社〕

正月元日(午前五時より)

元 旦 祭

一年の始まりを成就社にて。雪化粧をまとった霊峰石鎚山に初日の出を見て、いのちの輝きを感じましょう。

※祭儀の後

御神像拝戴神事





新春特別祈禱





新春招福縁起物頒布

※例年通り成就社初詣参拝者に石鎚神社より、先着五〇〇名の皆様に参拝記念品を贈呈します。

令和7年 厄年表

(数え年)

男性 大厄 42才		
前厄	本厄	後厄
	平成13年生 25才  み	
昭和60年生 41才  うし	昭和59年生 42才  ね	昭和58年生 43才  む

女性 大厄 33才		
前厄	本厄	後厄
	平成19年生 19才  む	
平成6年生 32才  いぬ	平成5年生 33才  とり	平成4年生 34才  さる

- 還暦 61才
- 古稀 70才
- 喜寿 77才
- 傘寿 80才
- 米寿 88才
- 卒寿 90才
- 白寿 99才

- 昭和40年
- 昭和31年
- 昭和24年
- 昭和21年
- 昭和13年
- 昭和11年
- 昭和2年

それぞれの年賀の年齢(数え年)を迎えた年に、神社で年賀のご祈祷を受けた後、家族の皆さんでお祝いするのが通例です。年賀や厄年のお祓いは、古例では2月1日ですが、その前後の日でも差し支えありません。石鎚神社では、年間を通して、年賀、厄よけのお祓いを致しております。

数え年・男女とも共通
年賀

百才以上の方は、毎年お祝い致します。 ※石鎚神社では、この厄年・年賀の年齢での御祓いをお勧めしております。

甥姪	姉妹	従兄弟	姉妹	兄弟	同母方	叔父母	父方伯	嫡孫	養子	嫡子	妻	夫	同母方	父會母祖	同母方	祖父母	父母	種別	服忌表 (服忌令摘記)
三日	三日	三日	二十日	十日	二十日	二十日	二十日	十日	十日	二十日	二十日	三十日	遠慮日	二十日	二十日	三十日	五十日	忌	
七日	七日	七日	九十日	三十日	九十日	九十日	三十日	三十日	三十日	九十日	九十日	十三月		九十日	九十日	十日	百五日	服	
<p>一、忌(き)は死穢に触れる事を忌み慎しむ期間のこと、この間は神祭り及び神社参拝などは遠慮しなければならぬとされている。</p> <p>二、服(ぶく)は喪中別に喪服を着用し謹慎の意を表す期間の事で普通神祭りや神社の参拝など差し支えないとされている。</p> <p>三、七才未満の小児には服忌なし、その父母のみ三日間遠慮のこと。</p> <p>四、遠地にあるもので、父母については、聞いた日から忌五日、服十三日をうけ、その他のものは聞いた日から忌の残数日のみを受け既に経過しているときは一日遠慮のこと。</p> <p>五、したがって神事は忌明けまで遠慮のこと。但し特に必要あらば忌日数の半分以上経過すれば徐服の祓を受けると差支えない。</p>																			
説明																			

星祭り祈願の「ご案内」

令和六年十二月二十一日

(冬至)

星祭り祈願始め祭

午後四時より

令和七年二月二日(日)
星祭り祈願納め祭

午前十一時より

星祭りとは、年の変わり目に各人の持つ「生まれ星」を祭り、大難は小難に、小難は無難になるように、一年間の幸福と除災の祈願を石鎚大神に祈願するものがあります。

祈願札に、ご氏名を記入調整し、冬至の日の夕刻より節分の日まで、神職が朝夕に清祓・ご祈願いたします。二月二日節分の日には、本社にて古神札神納浄火祭に次いで節分祭・星祭り祈願納め祭が斎行されます。

たくさんの方々のお申し込みと祭典の参列を心よりお待ちしております。

記

星祭り祈願申し込み要項

・こちらよりご覧になれます。



*祈願札は節分の後にお世話人様に発送し、皆様方にはお世話人様よりお受け取りいただきます。

二月二日の祭典の後、お渡します。

お知らせ
三千円未満の送料変更
郵送料値上げに伴い送料を百円から二百円に値上げ致します。ご了承下さい。

その他、ご質問や不明な点お問い合わせがありましたら、本社星祭り係までお尋ねください。

以上

祭典案内

二月一日 午後五時〜

星祭り 祈願納め宵宮祭

二月二日 午前十時三十分〜

古神札神納浄火祭
午前十一時〜

星祭り祈願納め祭

併せ 節分祭

引き続き

御神像拝戴神事

厄祓い豆まき

神賑行事

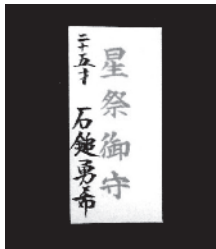
福引き入り福豆授与
招福うどん振る舞い

(但し数に限り有り十五時終了)

令和六年の神賑行事を記載しておりますので変更がある場合があります。

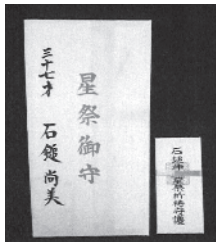
星祭り神札六種類、初穂料

星祭特別五号守 五百円以上



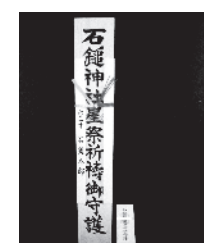
(五号守) 6.5cm×3cm

星祭特別二号守・六号守 二千円以上



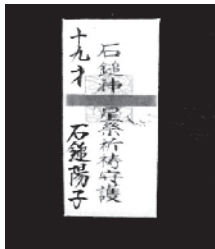
(二号守) 13.5cm×7.5cm

星祭り祈願特別木札・六号守 五千円以上



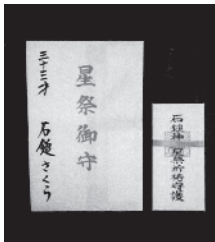
(木札) 高さ37cm

星祭特別六号守 三百円以上



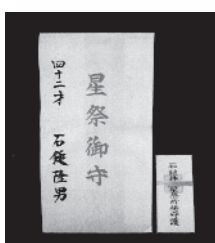
(六号守) 6cm×3cm

星祭特別三号守・六号守 千円以上



(三号守) 9.5cm×6cm

星祭特別一号守・六号守 三千円以上



(一号守) 16cm×9cm



石 鎚 神 社

新春特別祈祷の御案内

正月一日～三日まで連日
申込みの方々を御祈祷！

三日間、本殿で御祈祷後、

新春特別祈祷神札を、お届けします。

石鎚神社では、新春特別祈祷を、元旦より三日間、斎行致します。

私達は日頃より、天地自然の恵みの中で生かされて戴いており、より豊かな意義のある生活を送っています。その中でもすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。

新しく年を迎えるに当たり災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就の御守護を願う特別祈祷を、御案内申し上げます。
尚、初穂料は下記の通りです。

左記申込用紙を御利用下さい。

新春特別祈祷用木札

① 舟中札



24×7×0.7 (cm)

② 小木札



42×10×1.3 (cm)

③ 大木札



60×13×1.5 (cm)

新春特別祈祷初穂料

大木札	壹万円以上
小木札	五千円以上
舟中札	五千円以上

申込先

〒七九三一八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 新春特別祈祷係

TEL ○八九七―五五―四〇四四

FAX 五五―七二四二

石鎚神社新春祈禱申込書

令和 年 月 日

祈願内容

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 家内安全 | <input type="radio"/> 厄除延命 |
| <input type="radio"/> 当病平癒 | <input type="radio"/> 身体健康 |
| <input type="radio"/> 海上安全 | <input type="radio"/> 職場安全 |
| <input type="radio"/> 試験合格 | <input type="radio"/> 商業繁栄 |
| <input type="radio"/> 学業成就 | <input type="radio"/> 良縁成就 |
| <input type="radio"/> 交通安全 | <input type="radio"/> 心願成就 |

祈願一件につき右記を参照に
 祈禱木札の番号を記入下さい。
 お札の大きさは10ページを
 参照下さい。

①…舟中札 ②…小木札 ③…大木札

5,000円以上…①、②

10,000円以上…①、②、③

発 送 先

氏 名	
住 所	

〒 番号

No.

祈 禱 者 名 簿

初穂料合計一金

円也

(フリガナ) 氏 名	願 意	初穂料 円	木札 番号
生年月日 大平 年 月 日 昭令	住所 〒		
(フリガナ) 氏 名	願 意	初穂料 円	木札 番号
生年月日 大平 年 月 日 昭令	住所 〒		

◎送金方法

①郵便振替

②現金書留

石鎚神社 縁起物招福セット 限定100 (11月20日より受付開始)

※干支の置物は已になります



毎年の定期便を承ります。下記の申し込み書、又はFAX、メールにてお知らせ頂ければ幸いです。定期便解除希望の方もお知らせ下さい。

受付は、神社メール、FAX、社務所窓口でございます。※当社先達会付をお持ちの方、又は社報申し込みの方のみ電話受付致します。

お申込先：石鎚神社 担当：権禰宜 曾我部洋輔
〒793-8555 愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

http://ishi@ishizuchisan.jp/



初穂料 ¥5,000 円也 (送料着払い) (7点)

・振り込み用紙を同送致します。(※招福セットは、12月20日頃にご自宅へお届け致します。)

・定期便お申し込みの方は連絡不要です。解除希望の方はご連絡下さい。

◎7点セットのご案内

①福 箕(ふくみ) (天狗のお面) (寸法：14cm×17cm)

②御神酒 (寸法：19cm×7cm)

③干支置物 (寸法：9cm×14cm)

④御塩 (280g) お供え、お清め、お食事等にご利用下さい。

⑤教化カレンダー (上下見開きA3サイズ)

⑥石鎚魔除け猿 (寸法：約3cm×約2cm)

※一つ一つ手作りの為、猿の色柄・大きさは全て異なっております。

⑦天てんおみくじ (天狗のおみくじ) 天てん(天狗様のキャラクター愛称)は幸運を呼ぶ神様です。どうぞ良き所にお飾り下さい。

----- きりとり線 -----

招福セット (毎年の定期便 ・ 今回のみ) どちらかに○をお願い致します。

氏 名			お 電 話 ()
注文個数	個	郵便番号	〒 -
		ご住所	

石鎚神社教化カレンダー 謹製



表紙 A4サイズ



上下見開き A3サイズ

社務所窓口、ホームページ FAX にて受付。

お申込先：石鎚神社 担当：権禰宜 曾我部洋輔

〒793-8555
愛媛県西条市西田 797

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

<http://ishi@ishizuchisan.jp/>



初穂料 ¥1,000 送料別途

～ ご案内 ～

教化カレンダーの各月の写真は、当社と深く御縁を頂いております写真愛好家の皆様よりご提供を頂き、各月には『石鎚山三十六王子社』と致しまして三十六王子社の説明を掲載しています。日付には、旧暦と六曜を載せておりますのでご活用頂ければ幸いです。

----- きりとり線 -----

教化カレンダーお申し込み用紙 金1,000円 合計 円(送料別)

氏名		お電話	()
注文数	部	郵便番号	〒 -
		ご住所	

※教化カレンダーと一緒に振込用紙をお送り致します。

第二十二回 御神像拝戴奉仕者講習会開催

令和六年九月一日(日)、本

社月次祭に併せて御神像拝戴が行われ、その時にご奉仕いただき皆様の拝戴奉仕講習会が、近隣の崇敬組合より四十一名の参加をいただき開催されました。

この講習会は奉仕者から互いの作法・姿勢の切磋琢磨をはかりたいとの思いから始まり、コロナ禍で三年ほど休止していましたが、昨年に再開して今回で二十一回目となります。

約一時間の講習会でしたが、今回は十三名が初めての参加ということもあり、居残り稽古も行うなど実りあるものとなりました。

この講習会は毎年九月一日の午後零時半から神社会館にて開催しております。詳細については、権禰宜十亀までお尋ね下さい。
※当日の受講者名簿にて報告とさせていただきます。

【受講者ご芳名】

東予崇敬組合 近藤 守 窪田 進

西条周桑崇敬組合

菅 忠昭 十亀 勉

菅 敏郎 藤田 義久

杉森 信友 山崎 秀樹

神野 克史 秋山 一幸

佐伯 義明 高岡 信行

今治越智崇敬組合

平原 幸好 小林 興蔵

羽藤 繁雄 小林 敏朗

小林 優斗 大野 良恵

小林 直矢 品部 直之

岩森由岐子

中予崇敬組合

重見 幸男 伊藤 佳次

宮内 浩一 亀岡 正雄

高石 滋 山本眞理子

宮内 由美 小倉 隼人

市田 淳 小倉 愛理

市田 智恵 山下 伸美

橋本 由美 鶴久森美代

鶴久森耀介 宇野 牧子

宇野 浩平 黒田 明子

南予崇敬組合

山内 康治

東洋大心崇敬組合

沖本 一

(順不同・敬称略)

職員紹介

神社会館職員

山野井 光太



九月一日より、石鎚神社会館職員として勤務する事になりました山野井光太と申しま

す。出身は京都府で、石鎚山系と瀬戸内海に魅了され、結婚を機に愛媛県に移住しました。

石鎚山が大好きで、山登りを繰り返ししてきましたがこの度、ご縁があり、石鎚山と一番関わりの深い石鎚神社の一員となる事ができ、心から光栄に感じています。ご存じの方も多いかと思いますが、頂上山荘にてアルバイトの経験があり、職員や神職の先生にも顔馴染みの方々が多く、安心して奉職させて頂く事ができます。信者の方々や地域に愛されるような神社会館になるよう、研鑽に努めたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



お初穂奉納者

令和六年八月一日から
九月末日まで
五万円以上ご奉納いただき
ました皆様

《本社》

◎壹百万円以上
姫路市 村上真之助

◎貳拾万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子
株式会社大屋 伊藤慎太郎

◎壹拾万円以上

和食教会 安岡桂一郎
SAOPALOUミジ

◎五万円以上

讃岐神大遙拝所 大高 久呼
北九州市 仁田峠 満
佐々木 守

(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。

頂上社護持奉賛会 寄付者 芳名簿

令和六年六月一日～
令和六年九月末日まで
※五万円以上奉納者

◆安芸崇敬組合◆

壹百万円以上
西山講 西山安磨・美由紀

◆東予崇敬組合◆

壹拾万円以上
橋本市 岡本 一仁
" 藤田 久寛

◆福岡崇敬組合◆

壹拾万円以上
福津市 中山 登一
五万円以上 行橋市 東城 康子

(敬称略)

奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

御奉納

令和六年十月吉日
『大幟旗』御奉納者

安芸教会
西中 剛
(敬称略)



尚、成就社・土小屋遙拝殿・本社とも一体二万五千円にて御奉納を募集しております。よろしくお願いいたします。

文責 瀬宜 大岡



職員人事

瀧澤 勝 出仕
石鎚神社 権瀬宜 拜命
十月一日付



本社本庁より瀧澤勝出仕に、石鎚神社権瀬宜の辞令が発令された。

令和五年四月より石鎚神社出仕として奉職、本年四月からは成就社主事として奉職、一意専心の賜物である。

出仕は神職の見習いであり、権瀬宜を拜命して神職となり、神社本庁に登録される。瀧澤権瀬宜は以降、浅葱(あさぎ)色の差袴を常用する。

新たな一步を踏み出した瀧澤勝権瀬宜の益々の精進と活躍を祈り上げます。

文責、武智。

石鎚本教所属教師講習会開催のお知らせ

日 時 令和7年3月7日(金)～9日(日)
場 所 石鎚神社会館
参加資格 石鎚神社先達であること



詳細は12月に教区長・教会・遙拝所へ
お送りするご案内や、社報1・2月号をご覧ください。



石鎚森の学校活動報告

※石鎚山お山開き案内人

後援／愛媛県、西条市、
愛媛県石鎚山系エコツーリ
ズム推進協議会、西条市観
光物産協会

【日 時】 6年7月1日(月)
～7月9日(火)

【場 所】 石鎚神社成就社境
内から成就地区周辺の園地、
登山道

【ご案内件数及び人数】

5件、9名

【案内者】 曾我部英司理事

本事業もコロナ禍明けから
再開して三年目となります。

石鎚山のお山開きに来山さ
れる方は昨年よりも増えてい
るようにも見受けられます。
そのような中での活動となり
ましたが、本年から案内人が
成就地区に常駐ではなく、
ロープウェイ下谷駅からの案
内活動となるため、初の試み
として完全事前申込とさせて
いただき催行致しました。ま
た、雨天の場合は、カッパな

ど雨音で案内人の声が聞こえ
ないなどのことも鑑み、中止
する可能性があることも伝え
つつ。そんな中、リピーター
の方からのお申し込みが入り、
また、昨年案内を依頼するは
ずが断念され本年リトライさ
れた方からもご依頼いただき
ました。申し込みされた日は
良い天気の中でのご案内とな
り、歓びの声も戴きました。

本年はロープウェイ下谷駅
で集合合流し、ロープウェイ
からの景色や、山頂駅からの
登山道をゆっくり歩きご案内
し、成就地区では例年通りの
リチャード節を披露しつつ、
自然の中に笑いありのご案内
となりました。

ただし事前申込の為、事前
の周知や当日登山された方へ
の案内が出来なかつたことも
あり、件数、案内者数とも伸
びずという結果となりました。
山頂だけがお山ではなく、7
合目の成就地区でもご参拝は
もちろん、素晴らしいお山の
息吹を感じることができま
す。初めての試みもあり反省

点もありました。が、試行錯
誤しつつ、よりよい案内が
出来るように努めて参ります
ご参加された皆さん、ありが
とうございました。また、お
山で会いましょう！



※西条市 広報さいじょう
「saijo」8月号

【発刊日】 6年8月1日

【発行・編集】 西条市シティブ
ロモーション推進課広報係

【事務局対応】

曾我部英司理事・前事務局長、
十亀雅史理事・事務局長

地元西条市の広報さいじょう
「saijo」に、先日6月26日
に取材を受けました記事が掲

載されました。
「山が呼んでいらく石鎚山
系と共に生きていく」の特
集が生まれ、その中の見開き
1ページ半「身近な自然の面
白さを伝える」と題し、当法
人の活動や思いなどが伝わる
内容となっております。

西日本最高峰の石鎚山を中
心に、愛媛県と高知県の県境
に沿って東西約60kmに広がる
石鎚山系。豊かな自然に恵ま
れ、素晴らしい景観を見せて
くれる中にも、登山やアク
ティビティを楽しむに、年間
を通じてたくさんの方が訪れ
ます。

多くの人に愛されている石
鎚山系ですが、その背景には
草刈りや登山道補修、希少植
物の保護、獣害対策、施設の
維持管理など多くのボラン
ティア団体が取り組み、活動
しています。

維持管理には多くの人手や
お金が必要ですが、ボラン
ティアの高齢化、寄付金の減
少など課題は山積みです。

まずは石鎚山を身近に感じ
てもらい、人々に愛されるふ
るさとの山であってほしい。
(広報さいじょう「saijo」よ
り抜粋)



奉納当日の午前中は晴れ間も見えていましたが、準備中に雨が降り、雷も鳴る状況に心配しましたが、奉納式が始まると素晴らしい天気となり、奉納式で3曲、式後境内で2曲奉納され、参列の皆さん、またお山から下山された皆さんにも踊りを楽しんでもらいました。最後に20周年お祝いの紅白まんじゅうも振る舞われ大変喜ばれていました。

次は25周年ですね、などとお話をしつつ笑顔の中奉納を終えました。ありがとうございます。

※石鎚山お山の案内人活動

【日 時】6年8月5日(月)

11時40分/ロープウェイ乗車
15時10分/ロープウェイ臨時便下山解散

【場 所】石鎚山成就地区

【ツアー催行】(株)ソラヤマ

いしづち

【特別協力】石鎚神社

【案内人】NPO法人石鎚森の学校・曾我部英司理事

【事務局参加者】曾我部英司理事・岩本昌美スタッフ

今回は、(株)ソラヤマいしづち主催のツアーということで、東京・神戸方面からの皆さんをご案内することになりました。

ロープウェイ下谷駅で待っている皆さんがなかなか到着しない・・・、なんとかロープに乗れたものの、帰りの電車の時間が決まっている・・・。リチャード節を發揮しようにも時間が・・・。時間に追われながらも出来ることを出来る範囲でご案内し、成就社本殿で正式参拝も行うことが出来

※お山開き案内人活動から

講話依頼を頂きました

【日 時】6年8月8日(木)

10時30分/12時15分/講話
12時30分/14時30分/食事会

【講 話】石鎚神社本社社務所2階会議室

【食事会】石鎚神社社会館内

ヴィーガンカフェ/月虹

【講話担当】曾我部英司理事

【参加者】岡野ゆきさん、鳥山美春さん始め計10名

ました。ホツとした気持ちのままロープウェイ山頂駅に・・・ゴロゴロ・・・雷が・・・ロープが動かない・・・。帰りの電車の時間が迫り来る中、なんとかロープウェイも動かしてもええ、無事皆さん帰路につかれました。そんな中でも皆さんには喜んでもらえたと言き、リチャード節は健在でした！リチャードはまだまだ喋り足りないのでは？と逆に参加者の方に心配されるほどだったとか。

終わりの時間が決まっている案内は、突然の出来事で時間配分が変わってきます。時間には余裕を持って行動できるように心がけることの大切さを再認識する一日となりました。これもご縁ですね♪。



夏山開きに催行しているお山開き案内人」活動に、もう5回以上ご参加頂いている岡野ゆきさんから、お山開き後に「どうしてもリチャード(曾我部理事)さんから石鎚神社やお山のお話を聞いてみたい・・・。」という方々がいらつしやるので、食事でもしながらそんな時間を頂けませんか？とのご依頼。

曾我部理事、断る理由もないので喜んでお受けした次第。ただ・・・食事しながら曾我部理事の話をお聴いていると必ず吹き出すことは間違いない

(笑) ので危険?かも。なので講話と食事の時間は別々に提案して今回の運びとなりました。

当日は、敢えてパワーポイントなどは使わず、参加人数も10名に制限して参加者と曾我部理事の距離感を近いものにして、質疑応答等に即座に対応すべく、また机には話の種として神具の「大麻」、また「ソメイヨシノ」桜の葉と麻緒の原材料のクサマオ」を用意して講話が開始されました。



始まって早々、笑いをとり和やかで明るい会場の雰囲気を作り出す曾我部理事。ご参

加の皆様は笑いながらも熱心に聴いてメモを取ったり質問したり。お約束の90分はあっという間。15分延長して様々な質問等に対応させて頂きました。

講話終了後には、場所を移動して食事をしながら歓談。次回の開催を要望され、皆さん笑顔での散会となりました。またのご縁を楽しみにしています。



※石鎚森の学校2024夏
ブナの森の自然観察会

【日時】6年8月12日(月・祝) 11時00分/プログラムスタート/15時10分/ロープウェイ臨時便下山

【場所】石鎚山成就地区(松山市駅発)西条市内経由(送迎バス運行有り)

【案内人】北添 伸夫さん/昆虫・天体のプロカメラマン

【主催】NPO法人石鎚森の学校

【特別協力】石鎚神社

【協力】面河溪を愛する会、石鎚みやま会、石鎚登山ロープウェイ(株)

【ツアー実施】(株)国際旅行

【参加者】合計16名(曾我部英司理事・十亀雅史事務局長・岩本昌美・黒河由佳各事務局スタッフ、藤原隆子サポートスタッフ含む)

昨年に続き夏の定例事業が催行されました。今年は初めての参加の方が多く、自己紹介の時には「いつもツアーでは時間に追われ急いで登山しているけど、ゆっくり散策しながら登山してみたい」「下界は暑いので少しでも涼しく過ごしたい」など様々な思いのなかで参加されていました。当日は、曇り空ではありましたが過ごしやすい気候での散策案内となりました。

ロープウェイ下谷駅で受付。ロープウェイ山頂駅からピクニック園地へ。開会式で緊張の面持ちの参加者自己紹介が行われ、カブトムシドーム、キレンゲシヨウマ観賞、リフトに乗り移動中アサギマダラが1羽ですが気持ちよさそうに舞っていました。リフトの頂上では残念ながら下界は真っ白。各々想像の景色を楽しんでいました。ここから成就境内までは北添講師や曾我部理事の自然観察レクチャーを受けながら進み、様々な自然植物の写真を撮影されました。





午後からは、成就境内の説
明を行い、第二園地を散策。
しかし蝶や昆虫などが見られ
ず、ここではシカの樹皮剥ぎ
の被害状況を見てもらい、
ゆつくりと下山しつつロープ
ウェイへ。下谷駅での閉会式
では、朝の開会式と違って笑
顔での振り返りを聞きながら
やはりリチャード節はみんな
の心に響いているなあ、と感
心しつつ、自然観察会は無事
終了しました。

夏・冬の自然観察会、秋の
森林保全活動にも是非参加し
たい、とのお話もいただきました。
皆さん、またお山でお会いし
ましょう！

※「交流」第37回 山岳
写真家集団 くもの会写真展

【日時】6年8月22日(木)
会期/8月22日(木)~8月
27日(火) 10時00分~18時00
分

【場所】いよてつ高島屋
南館2階 ふれあいギャラ
リー/松山市湊町

【主催】山岳写真家集団
くもの会

【事務局参加】曾我部英司理
事・十亀雅史事務局長、岩本
昌美事務局スタッフ

山岳写真家集団くもの会写
真展のご案内を頂き、写真展
初日に訪問させていただきました。
した。

曾我部理事・岩本事務局ス
タッフは、コロナ禍を除きほ
ぼ毎年訪問していますが、私
は今回初めての訪問でしたの
で、楽しみに伺わせていただ
きました。

普段、石鎚山の風景や写真
はよく見ていましたが、日本
各所の山々の写真を観賞でき
るといふこともあり、新鮮な

気持ちで過ごすことができま
した。

写真家の皆さんは、この景
色を写真に納める為に一瞬一
瞬の時間を大切にされていま
すが、タイミングを外すと思
う景色が撮れない、今回はタ
イミング良くその場所に向
き撮影ができました、など苦
労話も聞かせていただきました。

NPO 活動は、本業ではあまり
過ごすことのない時間と、人
とのご縁も様々頂いています。
石鎚山は人を惹き付け、人を
育たせ大きくしてくれる、魅
力あるお山だなと改めて感じ
させていただきました。新た
なご縁に感謝し、これからの
ご縁に期待しつつ、活動して
参ります。



文責 事務局長 十亀雅史

『石鎚山環境保全応援団』
加入(ご寄付)のお願い

石鎚山二の鎖元「石鎚山
公衆トイレ休憩所」の維持
管理や、石鎚登山道(土小
屋ルート)の修繕は、3つ
の収入によって適切に実施
しています。

- 市町村の負担金
 - トイレ利用協力金(トイレ
レチップ)
 - 企業・団体や個人からの
寄付金
- そのうち、協力金や寄付金
が7割を占めています。

- 維持管理費が無くなると、
- 壁面の塗替ができず、色
落ち、カビが発生する
- 清掃回数が減り、ゴミや
汚れが散乱する
- トイレの劣化が加速し、
使用禁止箇所が増える
- 登山道の修繕ができず、
閉鎖される可能性も・・・

石鎚山環境保全応援団に
加入してみませんか?
ご協力をお願いします。

